

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 11 日

事務事業名		介護保険料賦課徴収事務				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010702000040	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	040601	
政策体系	総合計画の施策名	0107	社会保障制度の健全運営							
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			課長名				
	施策名	07	社会保障制度の健全運営			グループ				
	手段名	02	②介護保険制度の充実			担当者名				
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計			
	06	01	02	01	01	00	賦課徴収事業			
法令根拠	介護保険法、桜川市介護保険条例						単年度繰返し (平成12年度～)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険料の賦課事務は、第1号被保険者(65歳以上)に対して保険料を決定し通知する。 特別徴収は、保険料を年金より天引きするため年金保険者と情報交換をし、被保険者のデータと突合後、国保連合会にデータを送り年金機構に徴収依頼する。 普通徴収は、納付書を作成し発送する。併せて口座振替を推奨する。 滞納対策は、督促状・催告書を発送する。 夜間電話催告等を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 賦課：暫定賦課・本算定賦課・毎月月次処理による賦課 徴収：収納消込・還付処理 滞納：督促・催告・戸別訪問・給付制限

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 賦課：暫定賦課・本算定賦課・毎月処理による賦課 徴収：収納消込・還付処理 滞納：督促・催告・戸別訪問・給付制限 	特別徴収開始通知書発送数	通	12,622.00	12,674.00	13,171.00	13,171.00	13,171.00
	本算定当初納付書発送数	通	815.00	906.00	965.00	965.00	965.00
	催告書発送数	通	325.00	375.00	350.00	350.00	350.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
第1号被保険者(65歳以上)	被保険者	人	13,715.00	13,786.00	13,774.00	13,779.00	13,779.00
	介護保険料滞納者	人	199.00	190.00	180.00	180.00	180.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
収納率向上	収納率(現年)	%	99.10	98.86	99.20	99.00	99.00
	収納率(滞納繰越)	%	29.10	14.05	29.30	29.00	29.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
県支出金	千円	0	0	0				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	0	0	0				
一般財源	千円	4,271	5,188	6,262				
事業費計(A)	千円	4,271	5,188	6,262				
正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)			
	10 需用費	531		10 需用費	670		
	11 役務費	2,191		11 役務費	3,038		
	12 委託料	2,436		12 委託料	2,521		
	18 負担金補助及び交付金	30		18 負担金補助及び交付金	33		
			合計	5,188		合計	6,262

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 賦課：暫定賦課・本算定賦課・毎月月次処理による賦課 徴収：収納消込・還付処理 滞納：督促・催告・戸別訪問・給付制限 	<ul style="list-style-type: none"> 賦課：暫定賦課・本算定賦課・毎月月次処理による賦課 徴収：収納消込・還付処理 滞納：督促・催告・戸別訪問・給付制限 	<ul style="list-style-type: none"> 賦課：暫定賦課・本算定賦課・毎月月次処理による賦課 徴収：収納消込・還付処理 滞納：督促・催告・戸別訪問・給付制限

事務事業名	介護保険料賦課徴収事務	事務事業No.	10702000040	所属課	介護保険課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 介護保険法の施行により平成12年度から介護保険事業が開始されたが、3年ごとに事業計画の見直しを実施している。介護給付費の増加により保険料基準も増加しており、第8期計画の策定に伴い保険料額および所得段階の改定を実施した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民から保険料軽減を求める要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 介護保険法により定められた事業であるため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法により定められた事業であるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 法律で定められた事業であり、現在実施している事業内容以外に方法がないため、現状の成果より向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 介護保険法で定められており、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 滞納管理システムで滞納情報が関係各課共有できるため、互いに連携協力することができる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 介護保険法により定められた事務であるため、これ以上業務時間の削減余地はない。また、本算定・仮算定の作業は委託しており、必要最低限の人件費で削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 介護保険料については、課税状況及び所得により、負担能力に応じた段階別に設定しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 給付費の増加に伴い、保険料額も増加しているため市民の生活への影響が大きくなってきている。そのため、公正な納付義務の実現が今まで以上に求められてくるため、収納率向上に向けて更なる厳格な取り組みが必要になってきている。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--